

# リーブラ便り

2012年3月号 VOL. 33



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

## 目次

1. リーブラフェスティバル2012
  2. 講座案内
  3. 講座・活動報告
  4. 学習活動支援事業
  5. 運営協議会
  6. リーブラ相談室
  7. 男女平等参画情報
- ★別紙 2月・3月の新着図書ご紹介



## 2月25日(土)26日(日)、リーブラフェスティバル2012が開催されました。



### 広報活動も活発に

1人でも多くの方に、地元の人達にリーブラのことを知ってもらいたいとの思いから、今年の委員会では積極的な広報活動をスタートしました。

- ・近隣の大型マンションでのポスター掲示をお願いに直接訪問
- ・大使館へのポスター掲示依頼
- ・英語のポスター（上）製作など

団体の皆さんの協力を得ながら、足を使っての地道な広報を行いました。

### ホール



### 展示



### 受付



### 料理



実行委員会メンバーおつかれさまでした！

2月25日(土)・26日(日)、リーブラフェスティバルが開催されました。冷たい雨の中、25日(土)は524名、26日(日)は433名、合計957名の来場がありました。

「来館者に楽しんでもらいたい」「たくさんの人に来てもらいたい」そんな実行委員の思いを具体化した企画が実現しました。来館者や団体の親交もいっそう深まりました

### 団体のコラボレーションを促進する委員会企画が2本

団体間の交流を促し、来場の皆様楽しんでいただける企画を準備。『みんなで歌おう！コラボレーション』。楽しい歌声がリーブラに響きました。また、参加団体の協力を得て『ビンゴ大会』が行われました。



みんなで歌おう！コラボレーションの様子



ビンゴ大会盛り上がりました



### 男女共同参画週間記念フォーラム2012の準備が進んでいます！

1月31日に企画を締め切ったところ、14の企画が提出されました。2月6日、7日に企画団体による説明会が実施されました。その後、2月18日に企画審査会を行い、厳正な審査のもと、12企画を実施することに決定しました。審査の中で様々な改善案、意見が出され、団体の皆さんと共有しつつ進めていきました。4月には実行委員会を立ち上げ、より多くの区民の皆さん、団体の皆さんと協働で準備していきます。

——2012年の男女共同参画週間記念フォーラムは、6月22日(金)、23日(土)に開催します！

## 2. 講座案内（リーブラ主催講座）

### 健康体操 ～オリンピックの見方が変わる講座付き～

- 日時：4月21日（土）  
13:00～15:00
  - 会場：5階 ホール
  - 内容及び：健康体操や介護予防体操など、日常生活の中で無理なくできるさまざまな運動を通じて、健康づくりを行うとともに、スポーツにおけるジェンダー問題について学び、性別に関する固定的な認識を見直します。今年はオリンピックイヤー。新たな視点でスポーツを見て、考えてみませんか？!
  - 健康体操 実技  
講師：田中雅子さん(慶應大学・立教大学・武蔵大学非常勤講師 リジエールココ代表)
  - 講義「スポーツとジェンダー」  
講師：稲葉佳奈子さん  
(成蹊大学専任講師)
  - 参加費：無料
  - 対象：どなたでも
  - 定員：30名(先着順)
  - 申込：電話・FAX・メール・窓口
  - 保育：あり・無料 ※要予約  
(1歳から未就学児まで)
- 保育申込締切:4月10日(火)

### ふらっとリーブラ5月 『リーブラ読書会& ブックカフェ』



- 日時：5月30日（水）
  - 会場：4階 学習室E
  - 【昼の部】14:00～15:30  
【夜の部】19:00～20:30
- リーブラ所蔵の女性漫画家の本をテーマに、気楽なおしゃべりしを楽しみませんか？あらすじや作家の紹介もあり、未読の方も大歓迎です。ぜひ気軽にご参加ください。お題は、よしながふみ『大奥』『愛すべき娘たち』。細川貂々『ツレがうつになりまして』。益田ミリ『すーちゃん』など。
- 参加費：無料 ■定員：15名
  - 申込：予約不要(先着順)
  - 保育：あり・無料 ※要予約  
(1歳から未就学児まで)
- ①14:00～16:00、②18:30～20:30  
保育申込締切:5月16日(水)



同時開催

### ブックカフェ

■開催時間  
13:00～20:30

うららかな春の一日。リーブラの一室を開放し、ブックカフェをオープンします。お子さんと一緒に、仕事帰りに、のんびりと本を読んでみませんか？

おすすめのリーブラ所蔵の漫画、写真集、絵本なども展示します。

みずごしていた意外な本、おもしろい本との出会いをぜひ満喫してください。



# ふらっとリーブラ



ご好評の講座「ふらっとリーブラ」が、さらにパワーアップ!!  
2012年は、映画、ブックカフェ、ワークショップと、みんながたのしめる企画が盛りだくさんです。誰もがふらりとあそびに来たくなる、ふらっとリーブラ～♪をお楽しみに!!

## 「子育てがラクになる女性学講座」（4回連続講座）



子育ては24時間365日休みがありません。自分の時間がないと嘆くママも多いのではないのでしょうか？でも、ちょっと待って。少し考え方を変えると、子育て中でも趣味や仕事、交友関係は楽しめます！子どもにとっても、おつれあいにとっても、そして何よりママであるあなたにとっても楽しい毎日になるよう、学んでみませんか？

- 日時：5月25日、6月1日、8日、15日 いずれも金曜日の午前10時～12時
  - 会場：4階 学習室
  - 参加費：無料
  - 対象：区内在住、在学、在勤の子育て中の女性
  - 定員：24名(先着順)
  - 申込：電話・FAX・メール・窓口 4月13日(金)から受付開始。
  - 保育：あり・無料 ※要予約(1歳児から未就学児まで)
- 定員あり。保育申込締切：5月14日(月)

受付は、4月13日  
開始!



第1回 5月25日  
子育て中でも  
自分の時間がほしい!  
《女性学講義》  
(講師：加藤千恵さん)

小さな子どもを育てていると自分の時間はなかなかありません。でも育児中でも自分の時間はもちたいですね。そのためには夫や周囲の人のサポートは不可欠。女性学の考え方を学んで、役割分業意識から自由になりましょう。参加者同士の交流タイムもあります。

第2回 6月1日  
夫と対等でいたい!  
《女性学講義》  
(講師：加藤千恵さん)

結婚、出産で仕事を辞めると、なぜだか夫と対等でなくなったような気がする人が多いです。女性を取り巻く環境、社会情勢を学び、他者とより良い関係性がもてるよう考えていきます。参加者同士の交流タイムもあります。

第3回 6月8日・  
第4回 6月15日  
自分も相手も大事にする  
コミュニケーション  
《アサーティブ・トレーニング》  
(講師：堤暢子さん)

ママ友になかなか「NO」が言えない。近所の人やお姑さんに気を遣うばかりで疲れてしまう。色々な人間関係の中で、相手を大事にししながら自分の考えを伝えるコツを、ワークショップを体験しながら学びます。

### 3. 講座・活動報告

#### 「ふらっとリーブラ」1月 ～絵本と手遊びの巻～



- 実施日：1月27日（金）
- 参加人数：15名

リーブラ推進団体「新日本婦人の会」から元保育士の方を講師に迎え、手遊びやリーブラにある絵本の紹介、体操を行い、最後はみんなで輪になっておしゃべりをしました。当日の様子は、リーブラ3階廊下に展示してあります。

声を出したり、体を動かしたり、子育てに関するちょっとした悩みなどを話したりと、子どもも大人も楽しくリラックスできる時間を過ごしました。アンケートでも「定期開催してほしい」「大人も子どもも楽しめた」との声がありました。

来年度もリーブラならではの子育て支援事業を行っていきますので、ご参加・ご協力をお願いします。

#### 「著者が語る話題の本」講座 池川玲子さんが語る 『「帝国」の映画監督坂根田鶴子ー 「開拓の花嫁」・一九四三年・満映ー』



- 実施日：2月3日（金）
- 参加人数：23名

講座の最初に坂根田鶴子が監督した『開拓の花嫁』（1943年制作、満州映画協会）を鑑賞しました。その後坂根の人生、作品分析、映画と当時の満州移民政策との関係についての解説がされました。作品分析では、ドキュメンタリーのように撮られている映画が、労働や夫婦の生活風景、女性の活躍などの場面において、当時の実情よりも進んだ「男女平等」の演出がされていることが明らかにされました。講師の池川さんは、坂根のこうした「男女平等」が、立場や時代的限界があったことを指摘しました。

アンケートでは、「貴重な映像を見ることができた」など、あまり情報のない戦中のことがわかって良かったとの声があり、また、ジェンダーや男女平等についての研究や活動を紹介する「著者が語る」講座を引き続き開催してほしいとの要望が寄せられました。

#### 「男性向け介護入門 ー介護の基礎知識と ネットワーク作りー」

- 実施日：3月10日（土）
- 参加人数：13名

介護保険ができてから約10年。2010年の国勢調査、国民生活基礎調査、その他介護に関わる家族・介護者を対象とした調査結果から、社会状況の変化や、それにもなう家族や介護のありようの変化が明らかにされ、今や介護が誰にとっても身近な問題だと実感できました。

かつて女性が中心だった介護者も、4人に1人が男性となった今、仕事と介護の両立の困難さ、家族が同居し介護を行う事で親子ともに背負うリスクなど、介護を当事者だけの問題にするのではなく、社会の仕組みや介護者・被介護者への支援体制を体系的に作る必要性が語られました。

また介護の一日は「天国と地獄の繰り返し」、負担感と喜びの同時進行であるという介護者の心理が痛切に伝えられました。

参加者にも深い関心と問題意識を持っていただけたようでした。

### 4. 学習活動支援事業

#### 慶應さんかく会&リーブラ協働調査

慶應大学の通信教育課程の学生で構成される団体である慶應さんかく会とリーブラが協働で「ワークライフバランス」「男女平等参画意識調査」及び「拠点施設の充実」に関するアンケート調査を実施しました。

調査結果については、それぞれ報告書を作成し、リーブラの図書資料室に保管される予定です。

また、アンケート結果は、慶應さんかく会の今後の活動やリーブラの事業を計画する際に参考とされます。

慶應さんかく会の行ったアンケート結果の一部はフェスティバルで紹介されました。

#### 芝浦港南地区総合支所区民課/生活福祉課/リーブラ合同会議

- 12月27日（木）14:00～15:30

支所の窓口を訪れる区民の皆様へのサービス向上のため、支所とセンターがそれぞれの知識を共有し、情報を交換する機会を持ちました。行政上の手続きをする窓口と心の相談を行うリーブラの相談室や関連部署との連携など区民の皆様に対する迅速で適切なフォローができる協働関係を構築する第一歩となりました。

#### 「マジック入門1・2」 主催：港マジック同好会

- 実施日
- パート1 10月3日、17日  
11月7日、21日
- パート2：12月5日、19日  
1月16日、23日



広報を開始して間もなく、定員を超える申込みがありました。多数の方が参加し、学んだマジックをお互いに教えあい、世代間や男女の垣根を超えた交流が図れました。

アンケートにはマジックで自宅や会社、サークル等の場においてコミュニケーションを図ることができたと感想がありました。

リーブラの助成事業は初めての実施でしたが、マジックをとおして社会貢献し、参加者に自己実現を果たしてもらいたいという目的は、達成できたと思われそうです。

リーブラと団体が協働で事業を進めていく過程で、身についたジェンダーに関する気づきも促進されました。

講座に、コーディネーターが入って事業の趣旨を説明するなど、リーブラで事業を実施することの意味合いを団体・参加者ととも確認する場も共有できました。

#### まちづくり区民円卓会議

#### 「女性と政治 ー政策決定の場にもっと女性をー」

- 講師：円より子さん
- 主催 みなと21：女の議会
- 実施日：2月4日（土）

国政を熱く語る講師の円さんの情熱に、フロアからも活発な意見が出されました。

現状の選挙制度でクォーター制を導入しても、女性の数を増やすことは難しい。社会の少子高齢化が進み、女性も働いて、税金を収める仕組みにしていかなければならない。そのためには女性が結婚し、子どもを生み育てながら、働ける社会のシステムにしていかなければならない。男性中心で作った社会システムでは、女性が働きやすい環境は望めない。社会のシステムづくりの場に、もっと女性が進出していかないと社会は変わらない。一方、性役割の価値観で育った女性は、政策の場などに苦勞して出るのがいなくなるのは当然とお話。

政治、経済、教育あらゆる場にもっと女性が関わり、住みやすい社会を作るために、男女共に政治や教育に関心を持ち学習していかなければならないと熱く語って頂きました。

## 5. 運営協議会

### 運営協議会委員より

～退任にあたって～

昔々、大学のゼミで私に課せられた発表テーマの一つが男女平等でした。鬼のように厳しい先生は、私の発表に一言、「おもしろいな」。具体的にどういう仕掛けを作るかが重要だという指摘でした。私にとってトラウマのような出来事だったのですが、それから30年余の時を経て、男女平等の担当課長となり、再びその命題と向き合った3年間でした。

この間の貴重な経験の中で、最も印象的なのは、一昨年の設立30周年のお祝いです。リーブラで活動する団体が一堂に会してこれまでの歴史を振り返ると共に、男女平等参画に向けて、これからも頑張っていこうという思いが共有できた時間でした。やり残したことも多いのですが、皆で知恵を出し合い協働していこうという気運は高まってきたと思います。退任に当たり、淋しさと、しみじみとした感慨を感じています。皆様に心から感謝申し上げます。

港区 人権・男女平等参画担当課長  
若井世台子

### 平成23年度 第10回運営協議会

2月17日、運営協議会が開催されました。

#### 【議題】

- (1) 報告事項
  - ①1月の事業報告
  - ②フェスティバル2012進捗状況
  - ③フォーラム2012進捗状況
- (2) 協議事項
  - 〈新リーブラに向けての検討〉
    - ・交流コーナーについて
    - ・運営委員の改選について
    - ・推進団体と一般団体の区分について
- (3) その他

運営協議会では、新施設移転に向けて、部屋や共同スペースの使い方、団体登録の区分の見直しなど、こまかなルールについて委員の皆さんのご意見やご要望をうかがっています。幅広く多くの方に、新リーブラを安心してご利用いただけるよう、引き続き検討を続けていきたいと思っています。また、港区の防災計画も視野に入れ、「女性の視点をどのように生かすか」について併せて検討していく次第です。

## 6. リーブラ相談室

心のサポートルーム便り

全国の自殺者は14年間連続して年間3万人を超え、港区でも毎年平均45人の自殺者がいるとの調査結果も出ています。自殺の背景には、家庭や職場の問題、健康や経済・生活問題などさまざまな要因が重なっていることが多く、より深刻な状況になる前に当事者に手立てを講じることが大切です。一方、自殺した方の約8割は亡くなる前に誰かに相談をしているとの調査結果もあり、適切な支援を受けていない方がたくさんおられることが問題ともなっています。

リーブラ相談室をはじめ各機関の相談窓口など、お近くの相談室をご利用ください。



#### <開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00～20:00  
水曜日 10:00～16:00  
金曜日 10:00～16:00  
金曜日 18:00～21:00

**03-3456-5771 (専用電話)**

※面談は事前にご予約ください。  
電話相談も可能です。ご相談もご予約も上記の利用時間内に専用電話あてにお願いします。

## 7. 男女平等参画情報 ～東日本大震災から1年～

多くの犠牲者を出した東日本大震災から1年が経ち、今年の3月11日は一人ひとりがさまざまな思いを胸に過ごされたかと思えます。生活に必要な設備の復旧はもちろん大切ですが、個々人の心にはどのようなケアが必要とされているのでしょうか。文化精神医学や医療人類学を専門とし、トラウマ（生命や身体の保全部が危機にさらされ、恐怖や無力感などを体験したことでもたらされる心身への影響）を扱っている宮地尚子さんは、2011年8月に『震災トラウマと復興ストレス』という本を出版しています。本の中では、トラウマが個々人にもたらす反応や症状、被災者同士の関係の混乱や葛藤の状況が丁寧に説明され、また、被災者の支援を行う人が受けやすい心の傷や、被災者と支援者の間にも溝が生じることが指摘されています。宮地さんはさらに、時間の経過とともに被災地への関心が低下し、個々の地域における復興程度に差が出てくることで、被災者の孤立化が深まり、新たな分裂状況が生まれる可能性も明らかにしています。多くの困難な状況について述べられた本の最後では、予測されるさまざまな状況を多くの人を知り、心身の「復興」には丁寧なケアと長い時間が必要であると認識することで、確かなつながりが生まれるとあります。リーブラの3階廊下や交流コーナーでも、3.11企画として、震災から1年経ったそれぞれの人の思いが展示されています。どうぞご覧ください。



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	<a href="http://www.minatolibra.jp/">http://www.minatolibra.jp/</a>
施設利用時間	月～土曜日 9:00～21:30 日曜日 9:00～17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00～20:00 日曜日 9:00～16:00

発行日：2012年3月20日